

湊町彩る熱気の舞



新潟の街が踊り手の熱気に包まれた大民謡流し11日午後7時過ぎ、新潟市中央区の萬代橋

新潟まつり開幕 民謡流しに9000人

湊町・新潟の夏の風物詩「新潟まつり」が9日夜、大民謡流しで幕を開けた。萬代橋や榎谷小路など新潟市中央区の目抜き通りは、104団体、約9000人の踊り手の熱気と笑顔に包まれた。

午後7時、標の軽快な音で始まる「新潟甚句」で新潟まつりが開幕。涼やかな浴衣や法被姿の踊り手が、一斉に威勢よく合いの手を響かせた。

会場には「佐渡島の金山」の世界遺産登録を祝う横断幕も掲げられた。萬代橋上では佐渡おけさも披露され、祝賀ムードを盛り上げた。

新潟市南区の医療事務員中村優美さん(39)は「元日に震災があったが、この活気があれば乗り越えられないものはない。佐渡金山も世界遺産に登録され、これから多くの喜びが新潟を訪れてほしい」と話し、額に汗を光らせた。

10日には住吉行列や水上みこし渡御などが行われ、11日午後7時20分からの花火大会がフィナーレを飾る。

新潟の夏の
最下イベント開催